

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日 2024年2月1日				
ハッピーテラスと野教室						
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6		利用定員が適切であり、座席配置などにも気を付けて行うことができいております	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6		事前に職員がどこに配置されるか話し合ったうえで療育をしております。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6		教室と廊下の間にテープを貼っており、教室から出て出してしまう児童に対し「ここから出たい時は声をかけてね」と伝えるなど視覚的にわかりやすくしております	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5	1	活動に合わせて机の形など適切に変えております	整理整頓が不十分な箇所がございます
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6		気持ちが乱れた時にも別室でクールダウンができるよう、面談室を設けております	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6		支援記録を振り返って次の支援をどうしていくのか話し合いの場を定期的に設けております	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		評価表の内容を業務改善に繋げております。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		月に1回以上教室会議の場を設けており、忌憚なく意見を伝え合っております	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5	1	FC本部から定期的に査察が入り、評価を受けております	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6		オンラインでも対面でも定期的に行っております。また、月に3回ほど社内全事業所をリモートでつなぎ、ケース検討会議を行っております	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6		保護者にご説明の上、紙でお渡ししております。また、いつでも手軽に確認できるよう、オンラインでも公開しております。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6		日々のフィードバックを行っております。また、来室時に睡眠の状況などを伺い、行動の要因を明確にアセスメントできるように努めております。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6		草案を全職員持ち回りで作った後、ケース会議を行い、情報共有、今後の支援の展開など話し合いができております。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6		個別支援計画を毎回確認したうえで療育、アセスメントを行っております。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6		日々支援を書く際、個別支援計画を再度確認しながらアセスメントした結果などを細かく記録に残しております。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6		ガイドラインに沿って個別支援計画を作成しております。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6		毎月のトレーニング案を持ち寄り考え、意見をまとめて作成しております。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6		FC本部からの週間テーマを軸に児童たちが飽きることはないよう、都度変更を加えながら支援しております。また、突発イベントなどの企画、実施を行っております。	

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6		個別の時にしかできないこと、集団の時にしかできないことを考え、個別支援計画に反映させ、支援に繋げております。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6		朝礼でその日の職員の配置、やるトレーニングの確認など行っております。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	3	3	次の日の朝礼で行っております。	平日は支援終了時間と職員の退勤時間が同じため、その日のうちに振り返りができないこともございます。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6		保護者に共有する内容と個別支援計画にあわせて評価内容、2点の記録をとり、その後の支援に繋げております	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6		個別支援計画作成前にモニタリング及びアセスメントを行い、事業所内での様子だけでなく保護者から見た視点も踏まえ個別支援計画を作成しております	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	6		自立に向けた、創作的なトレーニング、地域との交流のための外出イベント、長時間の開所で余暇の提供などしております。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定する力を育てるための支援を行っているか。	6		「やりたくない」などの主張があった際、メリットデメリットを提示して本人が自分の意思で最善を選択できるよう促しております。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6		全職員が理解するようにしております。その中でも特に理解の深い職員が会議等に参加しております。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6		定期的に近隣の関係機関をめぐり、地域の協議会に参加し交流を深めるなど、連携できる環境を整えております。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6		電話だけでなくHUG,LINEなど情報の共有、連絡調整がスムーズにできるよう、環境を整えております。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	6		保護者の許可を得て保育園等から児童の様子を共有してもらうなどしております。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	6		保護者、及び本人が望むのであれば情報提供を行っております。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	6		定期的に訪問があるが、助言を受ける時間がなく、様子だけを見にくことが多いです。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	6		公園や子供広場などに行く際、その場にいるお子さんと交流することはあるが、交流のために場を設けることはございません。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	6		お誘いがあった際には必ず行くようにしております	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6		お迎え時に本日の様子をフィードバックしたり、日々の様子をHUGを使って共有したりなどしております。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6		全体を通しては行ってないが、保護者の方から要望があれば個別で行っております。	
保	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6		契約時に書類を見せ、一つ一つ確認しながら説明しております。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の視点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6		個別支援計画作成前にモニタリング及びアセスメントを行い、事業所内での様子だけでなく保護者から見た視点も踏まえ個別支援計画を作成しております。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6		本案作成後、変更や追加の要望がなければそのまま同意いただいております。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6		お迎え時に簡単なご質問等にはお答えしております。また、詳しく説明する際には別日に時間を設け、個別でご相談に	

護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	1	5	保護者の方のご意向もあり、保護者会の開催は行っておりません。	
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6		送迎時や電話などでご相談されたことを職員間で話し合い、実現可能なことであれば事前掲示の上、実施しております。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	6		ハピテ通信を発行して配布したり、HUG、LINE、インスタグラムなどでトレーニングカレンダーやお子さんの様子などを公開、発信しております。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6		鍵付きのキャビネットで個人情報などを管理しております。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6		子供それぞれの特性に合わせ、視覚的、聴覚的にそれぞれ使い分けて情報をお伝えしております。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		6	保護者の方のご意向もあり、地域の方をご招待することはございません。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	1	定期的な避難訓練を行うと共にマニュアルなどはすぐ見れる場所に保管している。また、契約時に保護者の方にご説明しております	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6		定期的な避難訓練と避難時に必要な防災用品を備えております。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	5	1	契約時に確認しております。	予防接種等は自己申告となるため報告がない場合には確認できておりません。
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	1	提携医療機関から指示をあおいでおります。また、緊急時に仰げるよう連携を図っております。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5	1	社内研修を行い、共通理解を深めております。また、はさみなどの刃物は基本的に職員室に置いておくなど、工夫しております。	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	1	重要事項説明書に基づき、契約時にご説明しております	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6		ヒヤリハットが起こった際には事業所内ですぐに共有しております。また月に1度社内でも共有、検討しております。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6		ガイドラインに則った研修会を実施しております。また、必要な際にも臨時的に実施しております	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5	1	虐待防止委員会をたて、委員の指示のもと決定しております。緊急時の対応についてのご説明をしております。	説明が不十分なところもございます。	